

第5回 北沢地域-1

施設全体方針、その他

備品、レイアウト、空間の使い方や過ごし方

利用ルール

支援体制、区民参加、つなぎ役

活動内容

「自由に、誰でも」というコンセプト

→みんなが普通に一緒にいるという空間を実現したい

仕切りのない中で、どう使いあうか
互いに尊重して譲り合って使えるか？

賑やかなイベント
静かに勉強

障害のある方寝たきりの方
みんなが使えないといけない

区民交流室

ここもなるべく自由に！
飲食可にして欲しい

お酒はNGかも
お菓子とかジュースとか

若者が集まる！
参加しやすい！

お母さんたちも来てくれる

ルール

問題が起きないように厳しく
→行政としてはこちらを取りがちだと思うが…

最初は
ある程度ゆるく、自由に

→問題が起きたら解決する

例えば…
飲食
若い人たちの交流には大事！

ルールは最初からガチガチにしない

より多くの人が集まり、活発な動きが生まれる

区の施設でイベントをやる際には制約が多い

どんどん発展させていく

ただ、ホールで騒がれると困る…

きっちりする部分
そうでない部分で考える

区民会館

けやきネット
→会場がなかなかとれない

大人数が入れる場所がない

時間や日にちがあわない…

安価でどんな団体でも使えると良い

みんな一緒なんだよと思ってもらえる空間づくりや活動（イベント）

運営

例えば夜の戸締り
→どうやる？
→誰がやる？

一体的な運営
組織はぜひつくってほしい

協働・コラボ
↓
誰が？
具体的に！

区に組織を作って欲しい

NPOはたくさんある
お互いを知らない

区が間に介して欲しい

みんなが困っていること（趣味、子育て、介護）

区がカバーしていくことはできないか

世田谷区民会館まつりとかやれるのでは

青少年交流センターでのおまつりを区役所でやっても良いのでは

広場・ピロティ

ペットとかどこまで可なのか

保護猫活動とか

ピロティでやるにしても、ルールできちんと決めておく必要がある

屋台とかキッチンカーも欲しい

区民交流スペース

世田谷の市民活動を「見せる」場所

もう少し広いスペースで、色んな人や物が入りやすいと良い

車いすや点滴、ストレッチャーなど

障害者も介護者も楽しめるような空間

第5回 北沢地域-2

施設全体方針、その他

備品、レイアウト、空間の使い方や過ごし方

利用ルール

支援体制、区民参加、つなぎ役

活動内容

区民交流スペース

演奏会等のレイアウト

歩きながら見られるなど様々なパターン

利用団体の交流会があった

・団体同士の交流
・区との協働

市民活動団体の検索機能があるといい！

区HPに施設のイベント情報

1人1人のニーズにあった使い方時間設定

1人でのんびりできるスペースや備品

ふらっと行けるオープンな場に

演者側としては謝金の流れも気になる

区民と区をつなぐコーディネートする役割

「つなぐ人」の人材育成も大事

小ホールの代わりとして区民交流スペース

ただし有料の場合…

通りすがりの人とお金を払っている人を区別

地域課題をコーディネータが把握

区との協働で利用者と一緒に考えていく組織

交通の便の悪さを解消
×踏切
×坂道

交通機関をもっと充実させる

何かやってる何かあるがないと区役所には行かないかも…

予約の方法インターネットですべて完結！24時間！

利用時間は1時間刻み

区民会館

楽器体験会→開演前に開催する方法もある

営利活動はあまり制限しなくても良いのでは

外国の方へのサポート体制

周りの人々がコーディネート機能

それぞれの特技を生かしたコンテンツ

トライアンドエラー色々な手法を検証していくことが重要

施設の使い方がモデルケースとして広がっていくといい

抽選（予約）の枠の拡充

団体登録なしで会議室利用！空いていれば利用可とするなど

パブリックシアターは規模が大きく全国向け

地域の区民会館としての存在意義

例：蔦屋家電（二子玉川）

テーマ毎に雰囲気が分かれている

ゆったりできるスペース

第5回 北沢地域-3

施設全体方針、その他

備品、レイアウト、空間の使い方や過ごし方

利用ルール

支援体制、区民参加、つなぎ役

活動内容

